平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11530
政策名（章）	第１章　安心して生活できる福祉社会をつくります	評価担当局	健康福祉局
基本施策名（節名）	第５節　社会保険制度の充実に向けて	施策所管課	介護保険課
施　策　名	介護保険制度の円滑な運営	課長名	柏木　敏克

１　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

介護保険は、40歳以上の被保険者が保険料を負担し、公平に制度を支え、介護を必要とする状態になっても、できる限り自宅において自立した日常生活を営めるように、必要な介護サービスを提供する仕組みである。また、平成18年度の制度改正により、介護予防の重視等、制度の見直しが行われた。介護予防の推進、適切な認定及びサービス提供、制度を支える保険料収入の確保により老後の安心を支える仕組みである介護保険制度を、持続可能性のある制度として運営していく必要がある。

２　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	17,176,945	20,954,487	
人件費	362,250		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	25,753	29,681	
合計	17,539,195	20,954,487	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

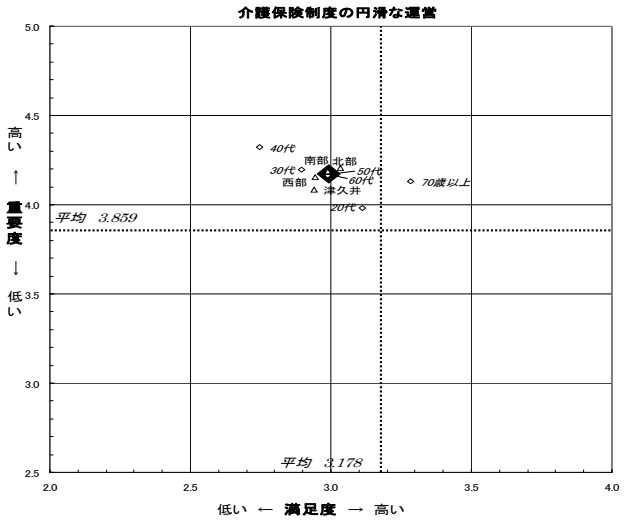
３　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標１	要介護認定を受けている高齢者の割合	要介護認定者(2号除く)／65歳以上人口×100	65歳以上人口に占める要介護認定者の割合（第3期介護保険事業計画による平成22年度の推計値） 目標値は合併後の1市4町の値に変更する
指標２	介護保険制度に対する満足度（要介護利用者） ＜介護保険に対する評価＞	満足+概ね満足/回答者×100	実態調査から要介護利用者の介護保険に対する満足度を把握する。指標2と調査項目は同様のため、指標2の目標値を利用する。基準値よりH19、H22と1%ずつ増。
指標３	介護保険制度に対する満足度（要支援利用者） ＜介護保険に対する評価＞	満足+概ね満足/回答者×100	実態調査から要支援利用者の介護保険に対する満足度を把握する。指標2と調査項目は同様のため、指標2の目標値を利用する。基準値よりH19、H22と1%ずつ増。
指標４			
指標５			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標１（単位：%）	H17	13.14	13.84	12.74	13.80		13.63		14.04	
事業費/人員										
指標２（単位：%）	H19	71.8	79.0	71.8					80.0	
事業費/人員										
指標３（単位：%）	H19	71.5	79.0	71.5					80.0	
事業費/人員										
指標４（単位：%）										
事業費/人員										
指標５（単位：%）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は2.994で121施策の中で112番目。
〇重要度は4.174で23番目である。
〇改善要望度は0.3527で9番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は40代で最も高く、20代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	・調査対象を介護給付の利用者と予防給付の利用者に分けたため、単純比較はできないが、前回の介護保険制度に対する満足度が77.9%であったものが、介護給付利用者71.8%、予防給付利用者71.5%と満足度が低下している。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 (2) 1	
合計		4	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	高齢化に伴う認定者数の増加により給付費の増加が見込まれるため、介護予防、介護給付の適正化を進めていく必要がある。また、利用者が必要とするサービスが受けられるよう、利用者の意向把握をし、事業者の介護の質の向上に努めていくことが重要である。
解決策	介護予防の取組み、介護給付の適正化を今後も進め、適切なサービス提供量を見込んでいく。 事業者への研修・指導により質の向上を図る。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

介護保険制度の円滑な運営

コード	11530

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
介護保険課	介護給付事務運営費	38,334	38,899	38,899	2.3	法	0.10	56,465	57,270
介護保険課	介護認定審査会経費	62,278	73,021	73,021	1	法	12.00	51,055	147,655
介護保険課	要介護認定事務費	176,902	214,554	214,554	1	法	10.00	131,406	211,906
介護保険課	保険給付費	20,640,468	26,181,906	26,181,906	2.3	法	10.70	16,899,974	16,986,109
介護保険課	賦課徴収事務費	29,353	37,818	37,818	2.3	法	10.00	29,756	110,256
介護保険課	介護サービス適正実施指導事業	4,830	7,533	7,533	1	1	2.00	2,803	18,903
介護保険課	社会福祉法人利用者負担助成事業・国特別対策分	824	2,000	2,000	2.3	2	0.10	1,429	2,234
~~介護保険課~~	~~訪問入浴介護サービス利用者負担助成事業~~					~~完了~~	~~0.05~~	~~1,052~~	~~1,455~~
介護保険課	訪問介護サービス利用者負担助成事業	1,498	1,500	500	2.3	法	0.05	3,005	3,408
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		20,954,487	26,557,231	26,556,231			45.00	17,176,945	17,539,195